

姫島村立姫島中学校の実践と学習

共 催 「地域の色・自分の色」研究会+姫島村教育委員会 日 時 2025年7月7日(月) 10.40~12.30

参加者 1、2年生19名、3年生14名 生徒計33名+河野校長、仲山教頭、教職員+堀内学芸員

「地域の色・自分の色」研究会 照山代表+事務局 塩月

資 料 実 践 血の池地獄の赤い泥+拍子水温泉の黄土色の泥+ペットボトルのキャップ+白い布+割り箸等

学 習 学習材「ふるさとのうみとそら」+パワーポイント

体 制 進 行 生徒代表、講 師 照山龍治代表、記 録 塩月孝子



(1) 事前アンケート調査

(2) 実践学習① 3時間 10.40~11.30



②布染めの手順を説明

③布配布、絞り染め準備(布、蓋、インデックス、輪ゴム、泥)→布を2種類の泥に浸ける



④学習材「ふるさとのうみとそら」配布、説明

→「色」を取り口とし、地域の自然や歴史や文化の学びを地域防災教育に繋ぐ物語教材



(3) 実践学習② 4時間 11.40~12.30

⑤パワーポイントによる地域学習(地域の色を切り口とした地域の学び→地域防災教育)



⑥「絞り染め」をそれぞれの泥から引き上げ、洗浄(浸けてから、50分経過)



⑦意見交換

生徒A「姫島の宝物は何だと思いますか？」

照山「皆さん方はもちろんですが、私は、それに加えて姫島黒曜石だと思います。先程、説明したよう

に、全国の黒曜石は黒色ですが、姫島黒曜石は乳白色です。縄文時代には、姫島黒曜石は、鹿児島

県から大阪府までとても広い地域で使われていました。鉄が普及するまでは、包丁や矢尻に使われ、



現在の鉄のように生活に必要不可欠な材料でした。

生徒B「大分県の宝物は何だと思いますか？」

照山「火山だと思います。七つの火山が姫島を作り、鶴見岳や伽藍岳という火山が別府扇状地を作り、

別府市の宝物である地獄めぐりや温泉を作りました。

国東半島では、シチトウイや米麦を作っている土壤も火山が作りました。弥生時代のたら製鉄の原料である砂鉄も火山から生まれました。」

⑧終わりの挨拶

(4) 学習材「ふるさとのうみとそら」寄贈式

中元副村長+照山

林教育長+照山



(5) 林教育長と河野校長、照山代表との意見交換



照山代表「研究協力校としてご協力ありがとうございました。」

生徒の授業に臨む態度が立派なので驚きました。姫島中学校の子どもたちの成長が楽しみです。」

河野校長「姫島中学校では、離島という特別な環境で育った生徒に、島外のいろんな人の意見を聞かせたいということで、多くの外部講師の方にお願いして、授業をもっています。」

照山「教職員の方々が、この実践学習にかなり関心をもっていたようですし、生徒が鉄の化合物や防災

など教職員にいろいろな質問をしていたので、教職員のご感想をお願いできないでしょうか？」

河野校長「大丈夫です。生徒のアンケート調査結果と一緒に送ります。」